

池田市の公共施設のあり方に関する 市民アンケート調査結果報告書

令和6年3月

【目次】

I. 調査概要	
1. 目的	2
2. 調査設計	2
3. その他	2
II. 調査結果	
調査結果のまとめ	4
1. あなたご自身について伺います	
■設問1. 年齢	5
■設問2. 世帯構成	5
■設問3. 職業	5
■設問3. お住いの地区	5
2. 人口減少や少子高齢化の時代の到来を背景として、今後、本市が取り組むべきことについて伺います	
■設問5. 本市の公共施設の大規模改修や建て替え時期が迫っていることについての認知度	6
■設問6. 公共施設に対する本市の望ましい取組の方向性	7
■設問7. 公共施設を集約・複合化する場合、どのような施設を対象にすべきか	8
■設問8. 公共施設の再整備を行う際に留意すべき点	9
■設問9. 将来的に廃止または統合・縮小を進めるべきと考える施設	10
■設問10. 今後、充実・拡充すべきと考える施設	12
■設問11. 再整備に伴う影響への許容度	14
3. コミュニティ施設について伺います	
■設問12. コミュニティ施設の利用頻度	15
■設問13. コミュニティ施設の利用頻度が少ない、利用していない理由	16
■設問14. コミュニティ施設にどのような機能の充実・拡充を求めるか	16
4. その他ご意見など	
■設問15. 本市の公共施設に関する取組についてのご意見	17

I . 調查概要

1. 目的

池田市の公共施設に関する取組を進めていくための基礎資料とすることを目的に、市民アンケート調査を実施しました。

2. 調査設計

a. 調査対象	18歳以上の市民3,000人
b. 調査地域	池田市全域
c. 調査方法	郵送による配布 郵送・インターネットによる回答（無記名式）
d. 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
e. 調査時期	令和5年11月1日から令和5年11月15日まで
f. 発送件数	発送件数3,000件、うち有効発送件数2,987件
g. 有効回答数	1,293件（有効回答率43.3%） うち郵送による回答960件、インターネットによる回答333件

3. その他

- (1) グラフ内の「n」は、各設問の集計対象者数を示しています。
- (2) 百分率（%）は原則として小数第2位を四捨五入し小数第1位までを表示しています。四捨五入の結果、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- (3) 複数回答の設問は、内訳の合計が100%より大きくなります。
- (4) グラフ内の選択肢の表記については、調査票の表記を簡略化して表示していることがあります。

II. 調查結果

調査結果のまとめ

- ・市民のみなさまには、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。今回のアンケート調査の回答数は1,297件（回収率43.3%）となり、多くの市民のご協力を得ることができました。アンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
- ・回答者の特徴としては、「70歳以上」の回答者の割合が全体の35.0%、「50歳代」以上の回答者の合計は77.3%となっており、若年層からの回答が少ない傾向となりました。
- ・本市の公共施設の大規模改修・建て替えの時期が迫っていることについては、「よく知っていた」、「少しは知っていた」の回答が45.4%、「あまり知らなかった」、「全く知らなかった」の回答が54.6%となっており、ほぼ半数ずつの結果となりました。
- ・公共施設に関する本市の望ましい取組では、「施設の集約・複合化」、「民間施設の借り上げ」の回答数が上位となっており、集約・複合化の対象とすべき施設については、「利用頻度や稼働率が低い施設」、「市民ニーズに合わなくなった施設」、「地域内で役割や機能が重複している施設」が上位となっています。公共施設の再整備を行う際の留意点としては、「無駄を省いていくこと」、「将来世代の財政負担が集中しないようにすること」が上位となっており、公共施設の維持管理・改修建替費用の無駄を省いていくことが求められていることがわかりました。
- ・今後、廃止等を検討していく施設の類型では、「公民館」、「コミュニティ施設」、「市営住宅」が上位となっている一方、今後も充実・拡大すべき施設の類型では「子育て支援施設」、「保健・福祉」施設が上位となっています。少子高齢化を背景として、子どもや子育て世代、高齢者に関連する施設の必要性が高まっていることがわかりました。
- ・公共施設の再整備に伴い、施設が遠くなったり、利用の仕方が変わることに、「ある程度仕方がないと思う」が45.8%、「納得できる理由があれば許容できる」が44.9%であり、多くの方から一定のご理解をいただいている結果となりました。
- ・コミュニティ施設の利用頻度は、すべての年代で「過去1年間で利用していない」、「一度も利用したことがない」が回答の半数以上を占めることとなりました。コミュニティ施設に求める機能としては、「誰もが自由に立ち寄れるスペース」が上位となりました。
- ・その他ご意見につきましては、433名から493件のご意見をいただきました。アンケートにご協力いただいた方の中から、3名に1名程度の方がご記入されたことになり、多くのご意見を得ることができました。
- ・今回のアンケート調査では、人口減少に伴う税収減や少子高齢化を背景とする人口構成の変化を受け、より公共施設の無駄を省いていくことが求められていることがわかりました。本市としましては、今後も必要な行政サービスを継続し、持続可能なまちづくりを進めるため、無駄を省きつつ、これからの時代に合った公共施設を整備していく必要があります。

【1. あなたご自身について伺います】

- 設問1. あなたの年齢を教えてください。(1つ選択して番号に○)
- 設問2. あなたの世帯構成について教えてください。(1つ選択して番号に○)
- 設問3. あなたの職業を教えてください。(1つ選択して番号に○)
- 設問4. あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つ選択して番号に○)

有効回答数 1,293 件の回答者属性の構成は以下のとおりとなりました。

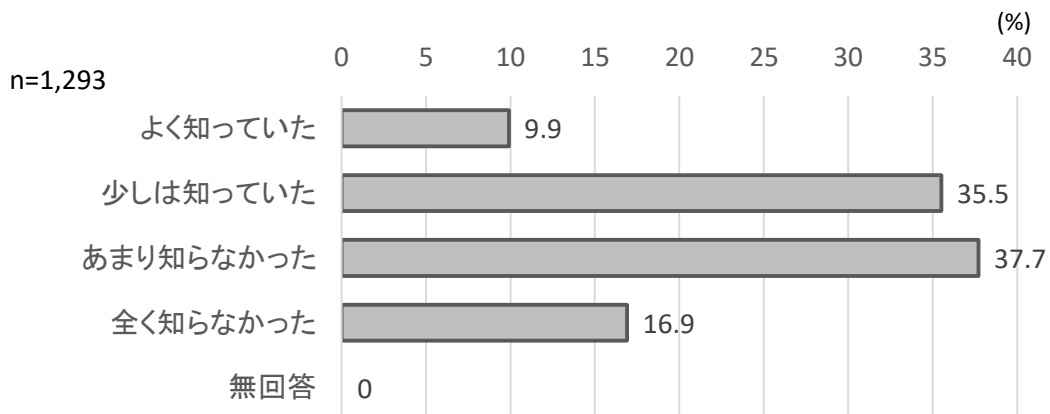
	選択肢	回答数	回答割合
年齢	10歳代	0	0.0%
	20歳代	17	1.3%
	30歳代	84	6.5%
	40歳代	190	14.7%
	50歳代	268	20.7%
	60歳代	279	21.6%
	70歳以上	453	35.0%
	無回答	2	0.2%
世帯構成	一人暮らし	256	19.8%
	夫婦(それに準ずる関係を含む)のみ	413	31.9%
	二世帯世帯(親と子)	560	43.3%
	三世帯世帯(親と子と孫)	50	3.9%
	その他	12	0.9%
	無回答	2	0.2%
職業	正社員・正職員	422	32.6%
	派遣社員・契約社員・嘱託社員	83	6.4%
	パート・アルバイト	177	13.7%
	自営業	114	8.8%
	農林漁業等	2	0.2%
	家事専業	85	6.6%
	学生	2	0.2%
	無職	391	30.2%
	その他	15	1.2%
	無回答	2	0.2%

	選択肢	回答数	回答割合
居住地区	池田小学校区	183	14.2%
	秦野小学校区	158	12.2%
	北豊島小学校区	144	11.1%
	呉服小学校区	130	10.1%
	石橋小学校区	126	9.7%
	五月丘小学校区	103	8.0%
	石橋南小学校区	67	5.2%
	緑丘小学校区	97	7.5%
	神田小学校区	91	7.0%
	ほそごう学園校区(旧細河小学校区)	50	3.9%
	ほそごう学園校区(旧伏尾台小学校区)	69	5.3%
	わからない	68	5.3%
	無回答	7	0.5%

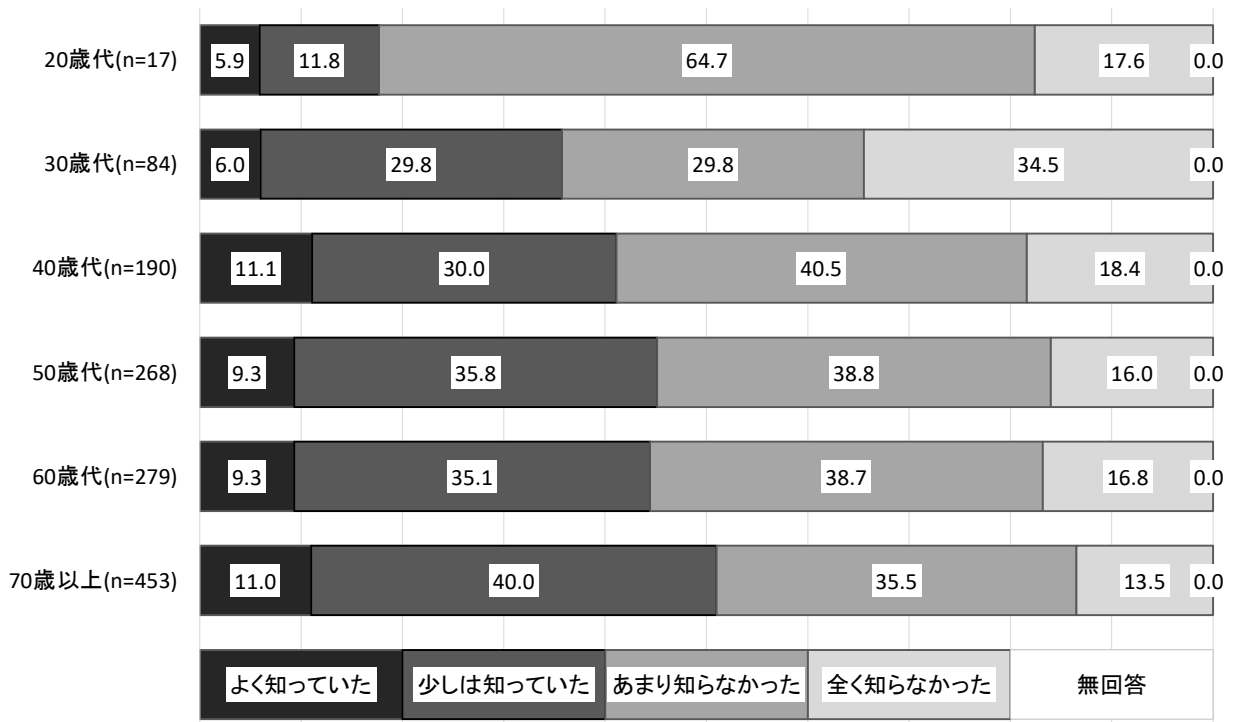
【2. 人口減少や少子高齢化の時代の到来を背景として、今後、本市が取り組むべきことについて伺います】

■設問5. あなたは、本市の公共施設の多くが老朽化しており、それらの施設の大規模改修や建て替えの時期が迫っていることについて、どのくらい知っていましたか。
(1つ選択して番号に○)

「あまり知らなかった」の割合が37.7%と最も高く、次いで「少しは知っていた」が35.5%を占めています。「よく知っていた」、「少しは知っていた」の合計は、「あまり知らなかった」、「全く知らなかった」の合計と比較して9.2%少なくなっています。

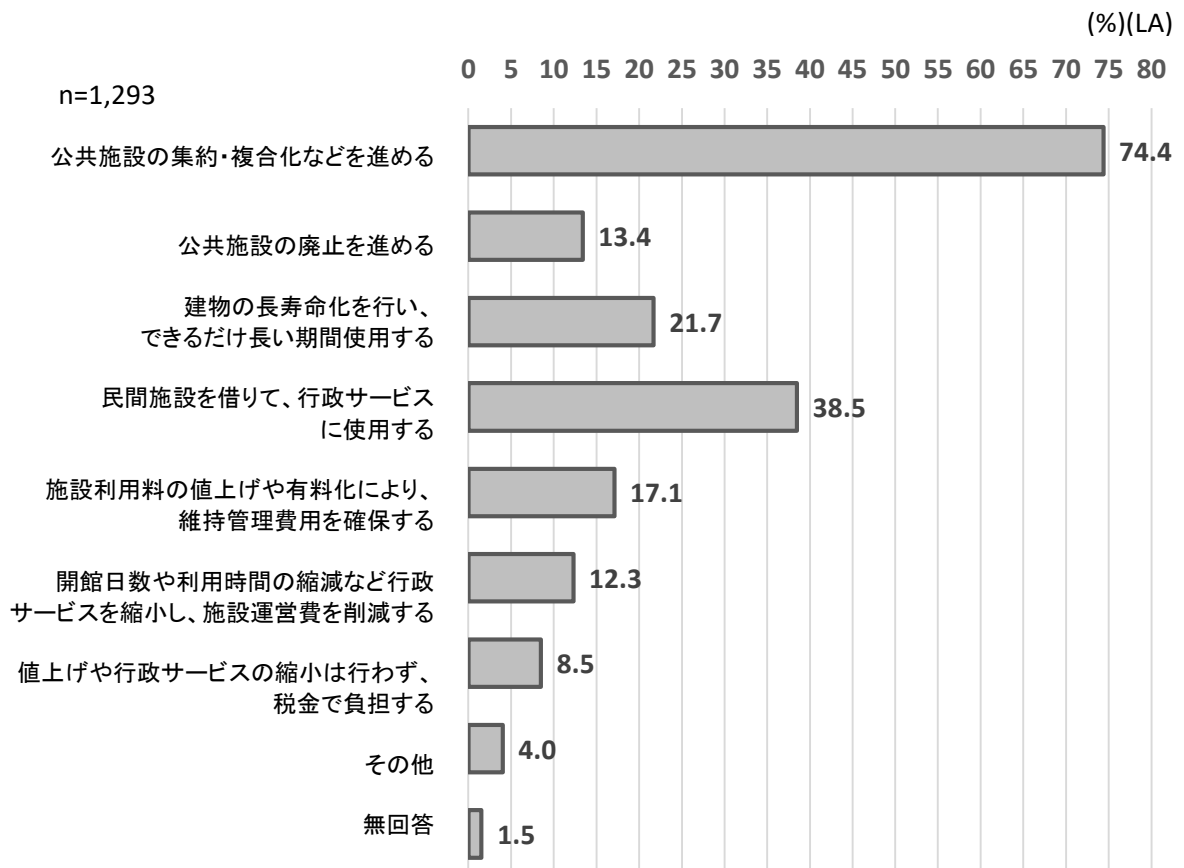


年齢別では、「よく知っていた」、「少しは知っていた」の合計は、「20歳代」が最も少なく、「70歳以上」が最も多くなっており、概ね、年齢層が高いほど施設老朽化問題の認知度も高くなっています。



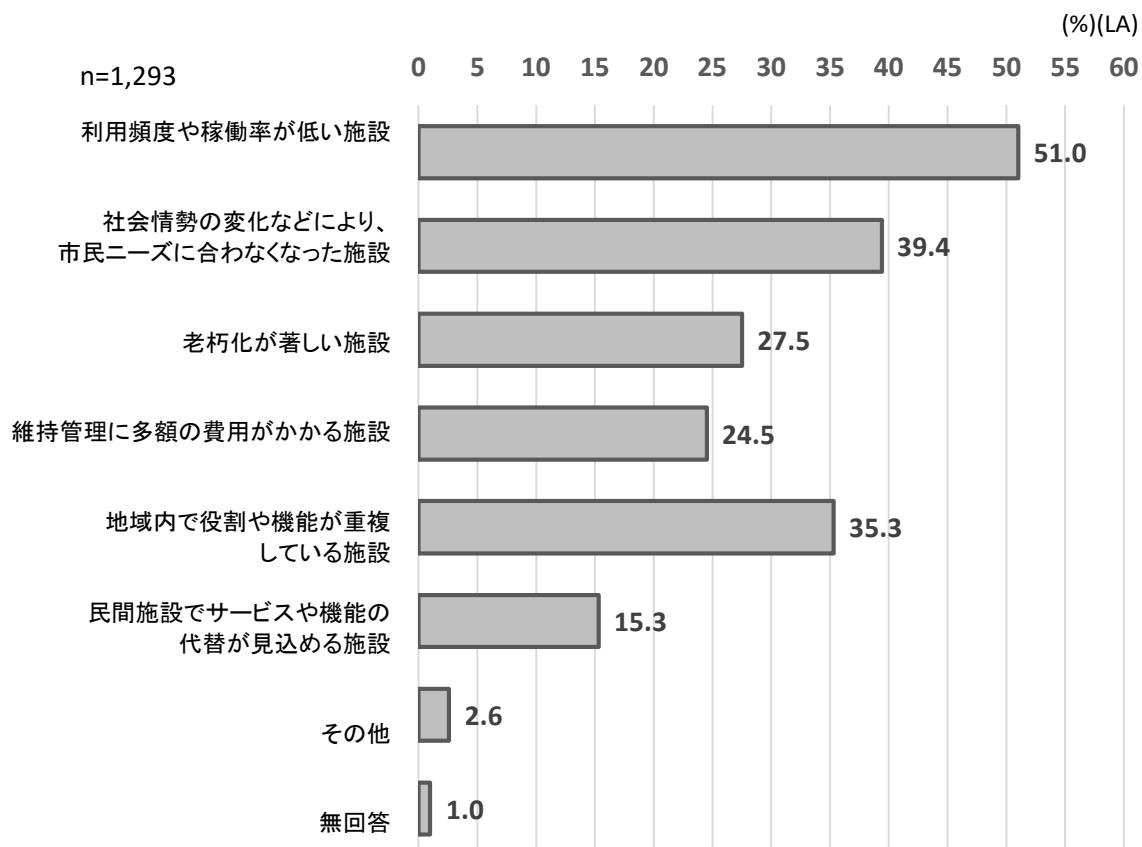
■設問6. 将来、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられる中、公共施設に対する本市の望ましい取組の方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(特に当てはまるものを2つ選択して番号に○)

「集約・複合化」が最も多く、回答者の74.4%が選択しています。次いで、「民間施設を借りる」が多く、回答者の38.5%が選択しています。



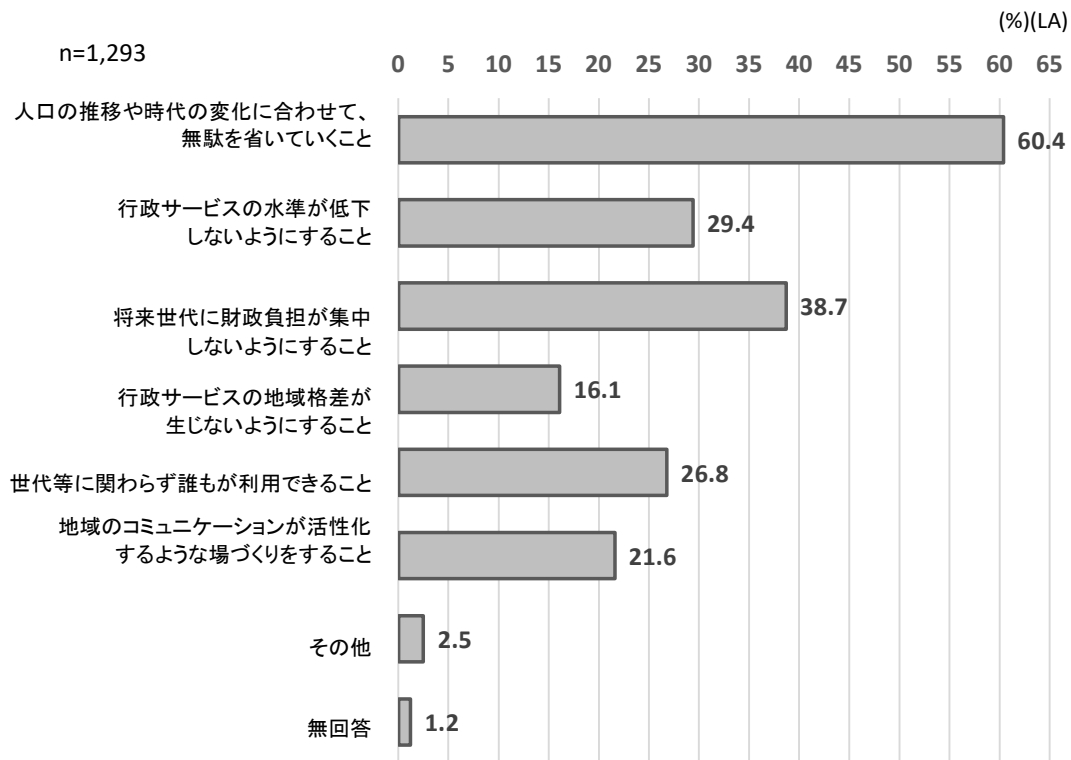
■設問7. 今後、本市の公共施設を集約・複合化する場合、どのような施設を対象にすべきだと思いますか。(特に当てはまるものを2つ選択して番号に○)

「利用頻度や稼働率が低い施設」の回答割合が最も多く、次いで「市民ニーズに合わなくなった施設」、「地域内で役割や機能が重複している施設」が選択されています。



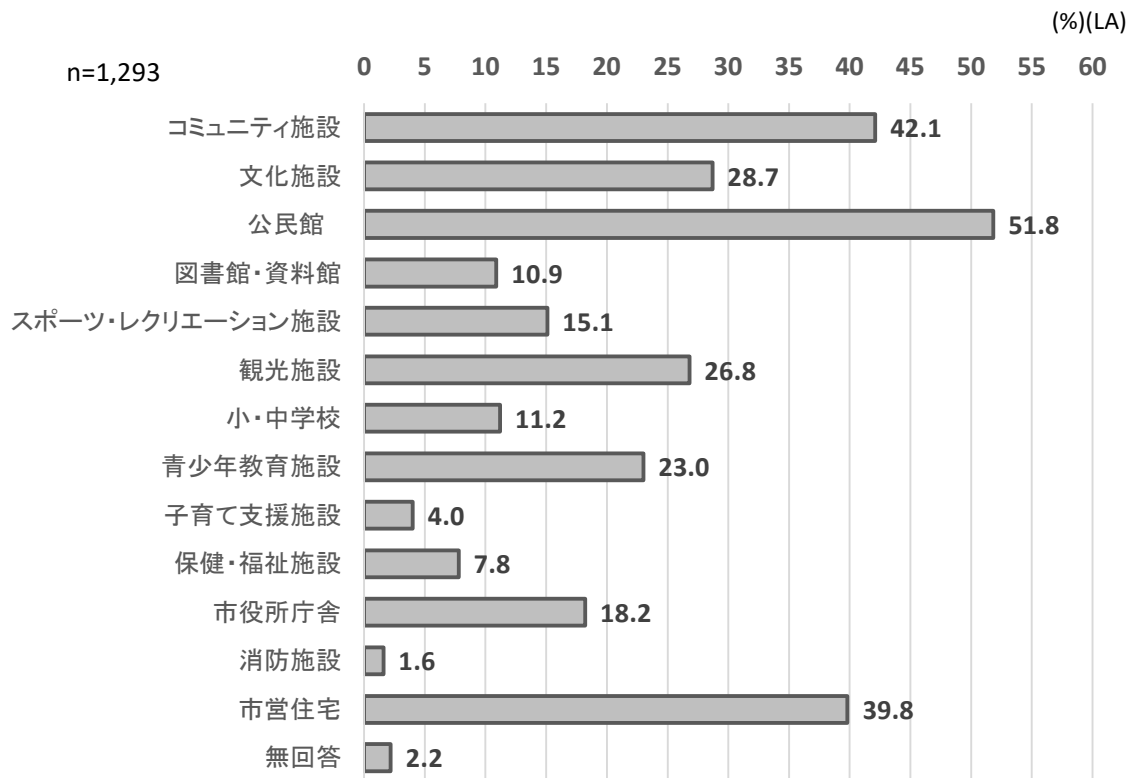
■設問8. 今後、本市の公共施設の再整備を行うにあたり、どのような点に留意すべきだと考えますか。(特に当てはまるものを2つ選択して番号に○)

「無駄を省いていくこと」の回答割合が最も多く、次いで「将来世代に財政負担が集中しないようにすること」が上位となっています。

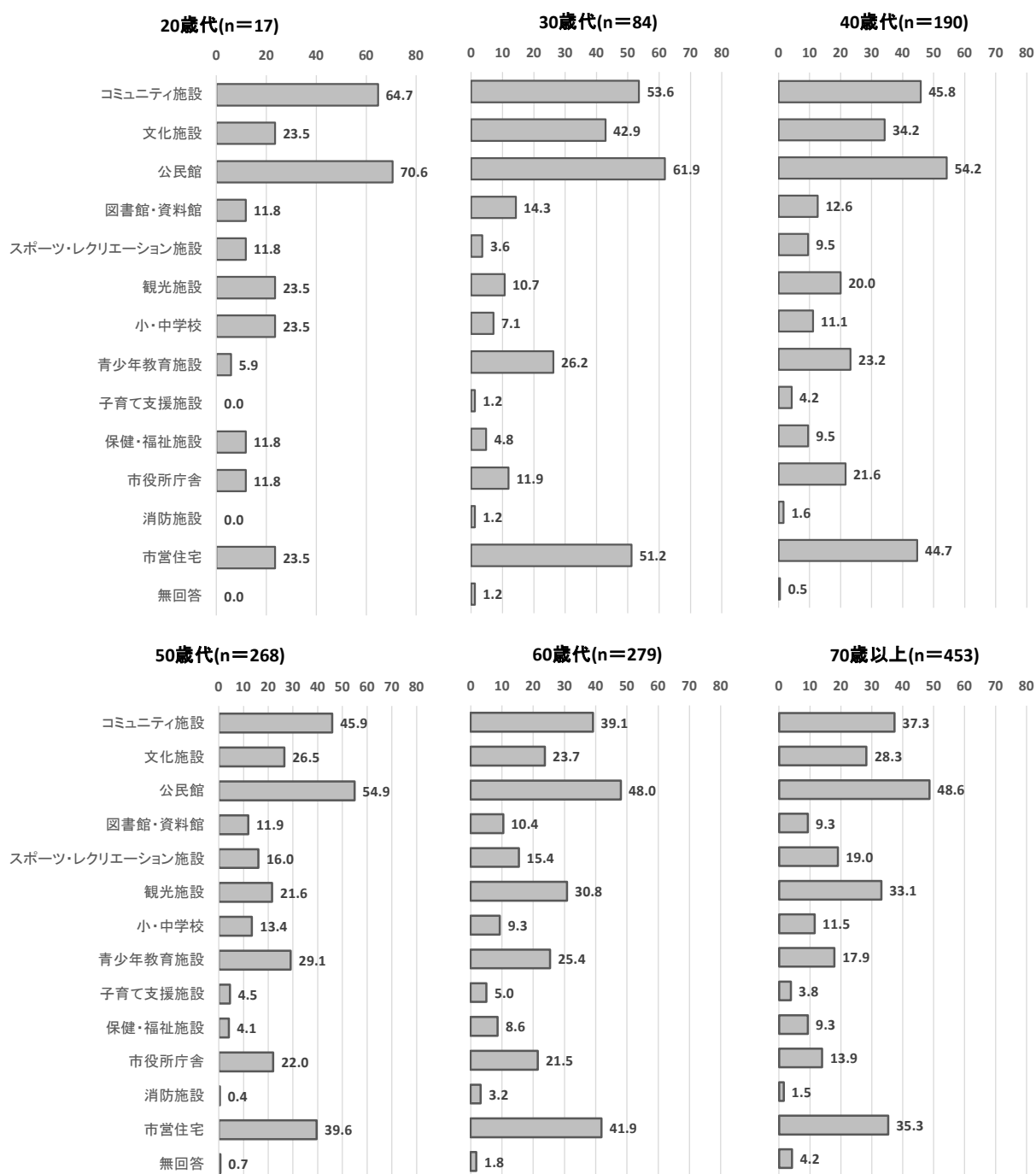


■設問9. 公共施設では様々な行政サービスを提供していますが、将来、今ある公共施設のすべての維持管理が難しくなった場合、将来的に廃止または統合・縮小を進めるべきと考える施設は、どのような施設だと思いますか。(特に当てはまるものを3つ選択して番号に○)

「公民館」、「コミュニティ施設」、「市営住宅」の順に回答割合が多くなっています。

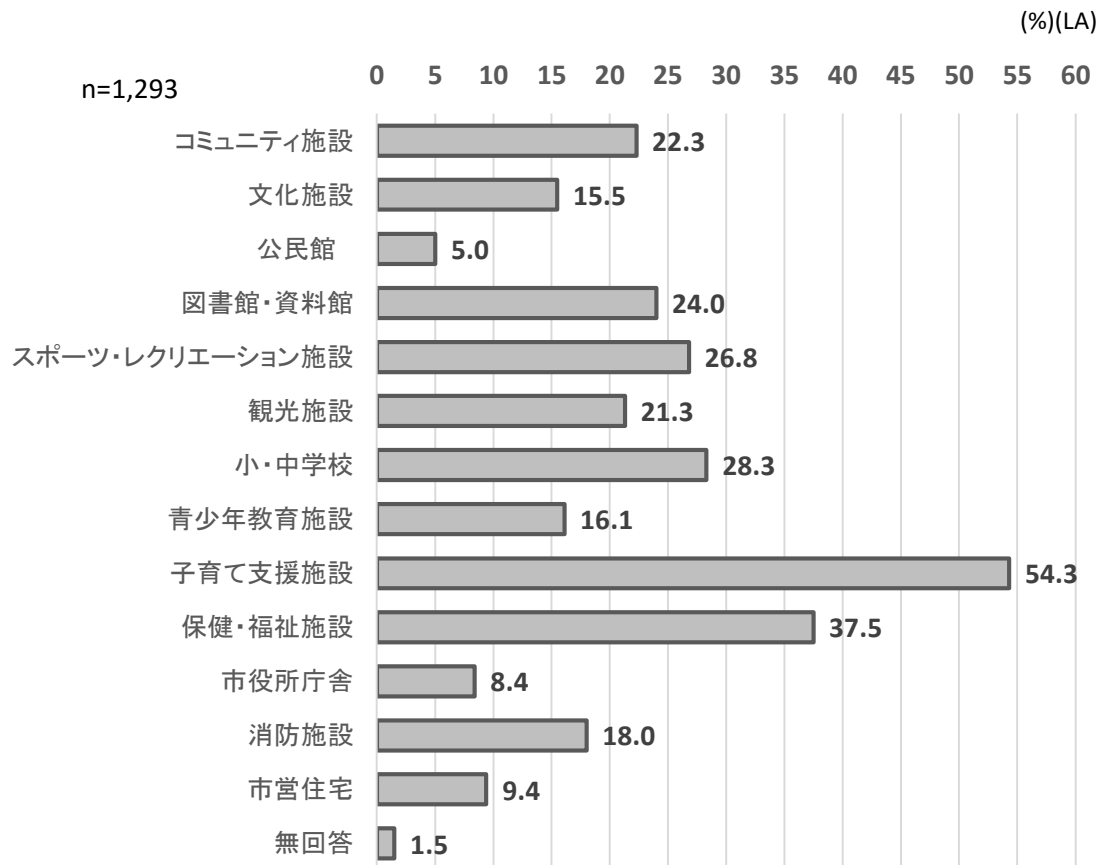


年代別に見ると、選択肢ごとの回答割合は大きく変わりませんが、年齢層が上がるにつれ、「コミュニティ施設」、「公民館」の割合が減少し、「観光施設」の割合が増加する傾向があります。

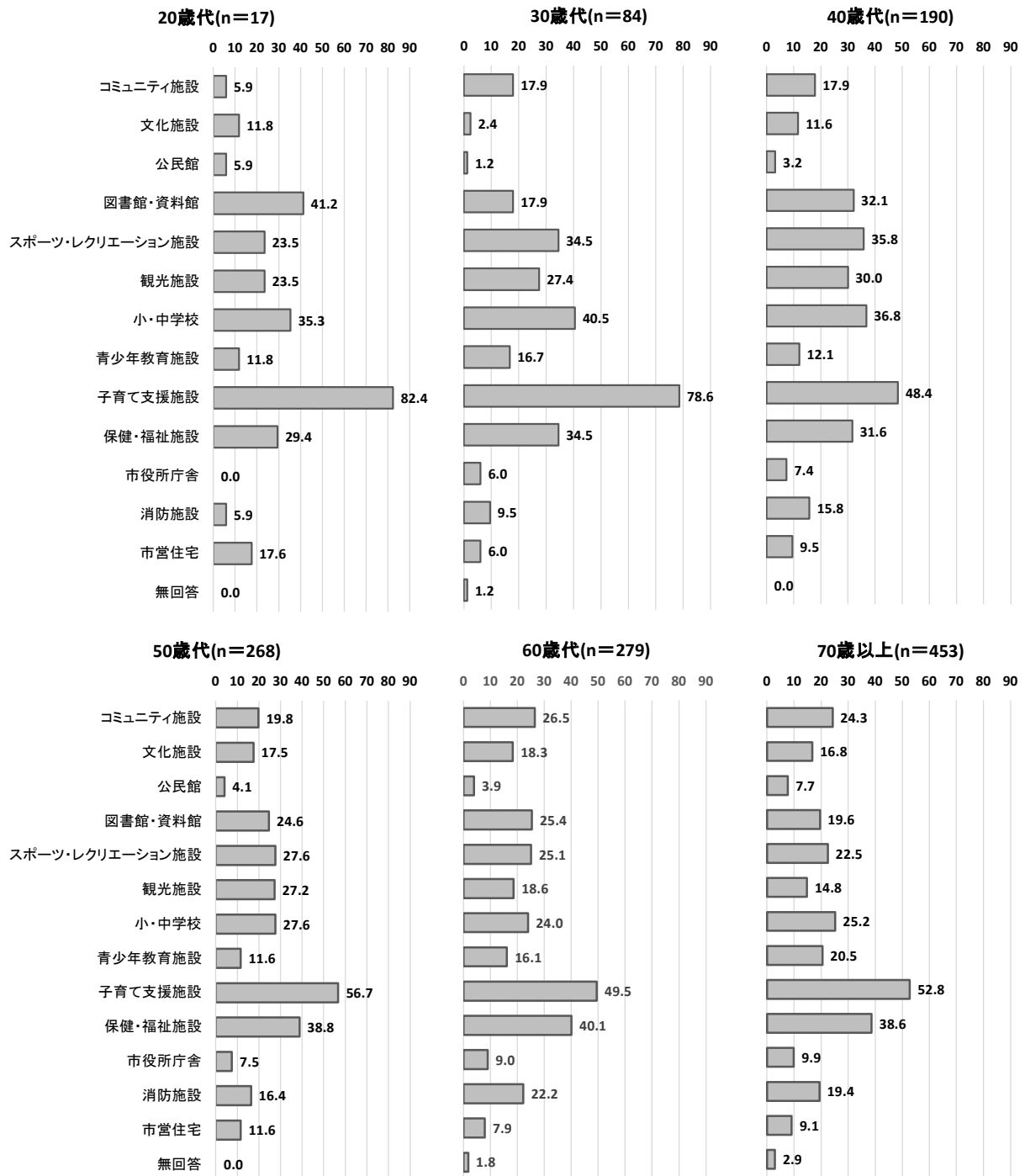


■設問 10. 今後、本市が充実・拡充すべきと考える施設は、どのような施設だと思いますか。(特に当てはまるものを3つ選択して番号に○)

「子育て支援施設」が最も多く、次いで、「保健・福祉施設」の割合が多くなっています。「公民館」、「市営住宅」の割合は設問9と反比例して低水準となっていますが、「コミュニティ施設」は、他の選択肢と比較して特別低い水準ではありません。

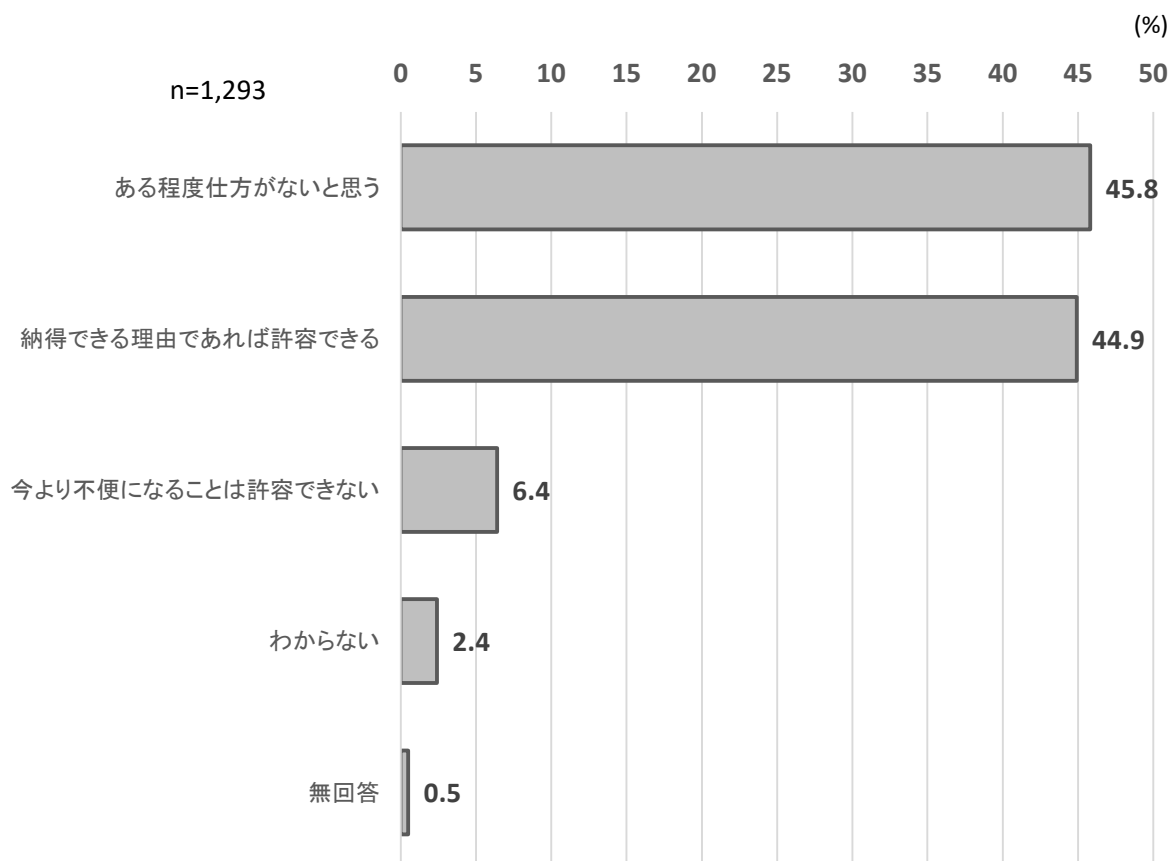


年代別に見ると、子育て世代の「20 歳代」、「30 歳代」で特に子育て支援施設の需要が大きくなっているほか、年齢層が上がるにつれ、コミュニティ施設の回答数が多くなっています。



■設問 11. 公共施設の再整備を進めると、今まで利用していた施設が遠くなったり、利用の仕方が変わったりする場合があります。このことについてどう思いますか。(1つ選択して番号に○)

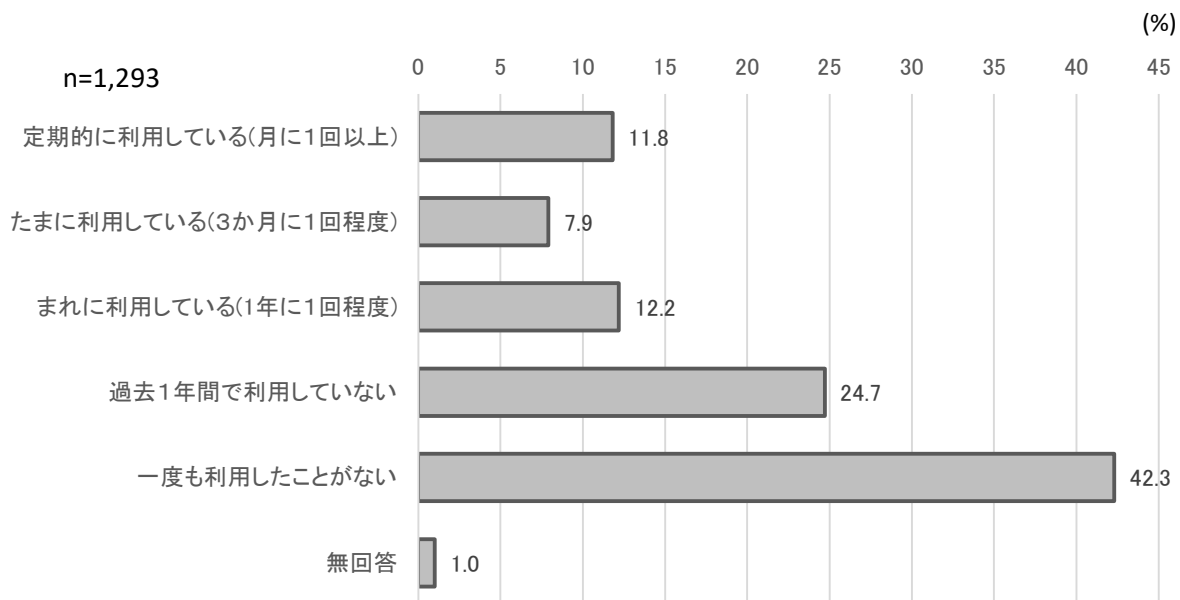
「ある程度仕方がない」、「納得できる理由があれば許容できる」の回答が大多数を占めており、公共施設の再整備に関する一定の理解が確認できます。



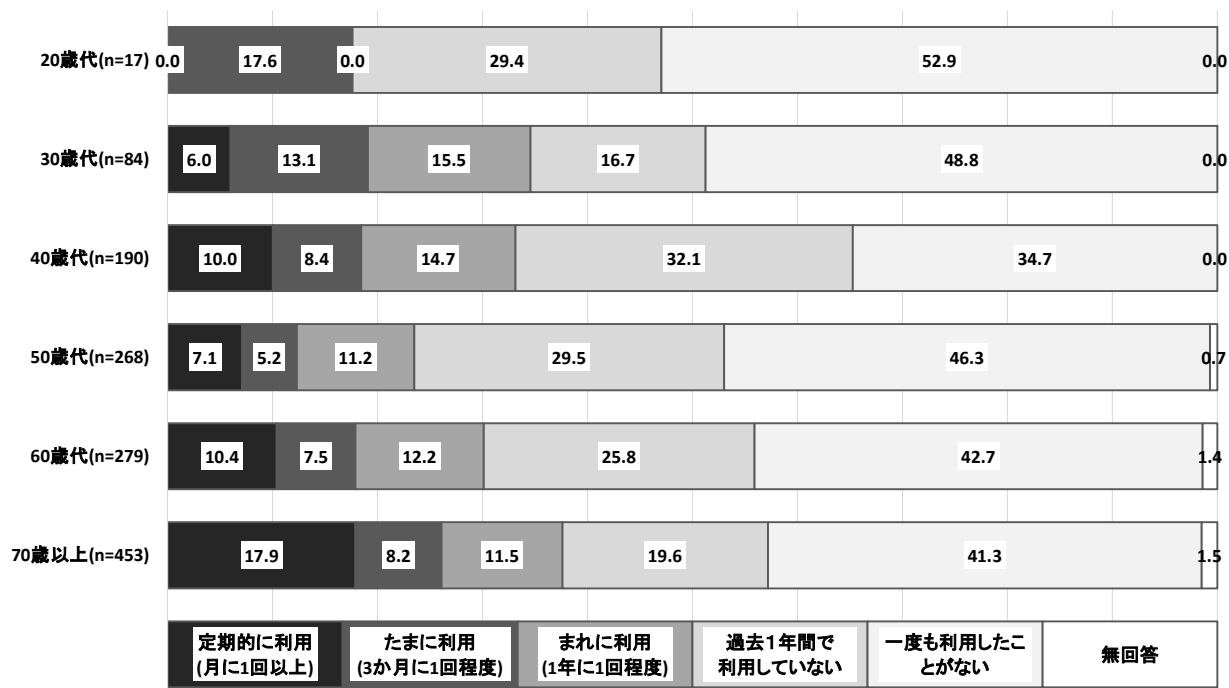
【3. コミュニティ施設について伺います】

■設問 12. あなたは、コミュニティ施設をどれぐらい利用していますか。(1つ選択して番号に○)

「一度も利用したことがない」、「過去1年間で利用していない」が全体の67.0%を占めています。

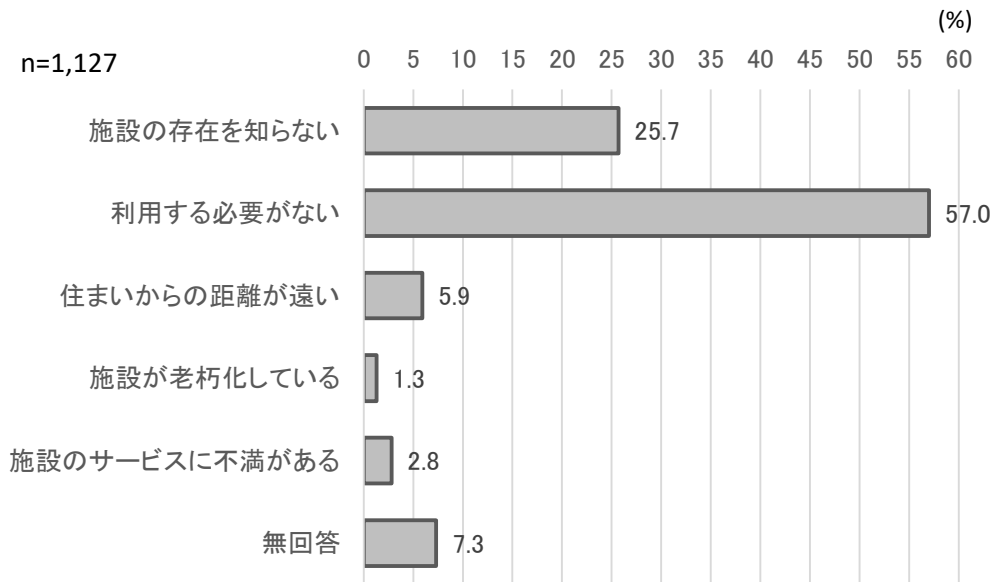


年代別に見ると、すべての年齢層で「一度も利用したことがない」、「過去1年間で利用していない」が半数以上を占めています。



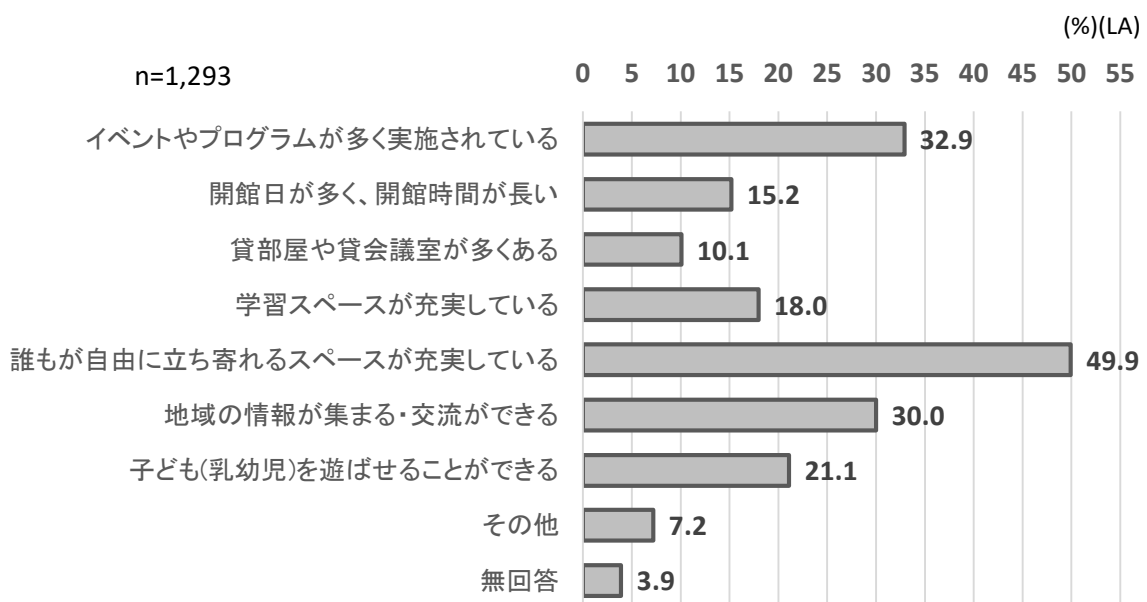
■設問 13. 【設問 12 で選択肢 1 を選んだ方以外に伺います】利用が少ない、利用していない理由はどれですか。(1つ選択して番号に○)

「利用する必要がない」が最も多く、次いで「施設の利用を知らない」が高い割合となっています。



■設問 14. あなたは、コミュニティ施設にどのような機能の充実・拡充を求めますか。(特に当てはまるものを2つ選択して番号に○)

「自由に立ち寄れるスペース」が最も割合が大きくなっています。



【4. その他ご意見など】

■設問 15. 最後に、本市の公共施設に関する取組について、その他ご意見などがあればお聞かせください。

本市の公共施設に関する取組について、433名から493件のご意見をいただきました。ご意見の分類は以下のとおりです。

【ご意見の分類】

内容	件数
施設の存続、統廃合に関するご意見	64件
施設の運営、サービスに関するご意見	35件
施設の立地、交通手段に関するご意見	25件
民間や他自治体との連携に関するご意見	21件
特定の施設に関するご意見	98件
施設についての取組に関するご意見	104件
施設以外の取組や市政に関するご意見	66件
情報発信に関するご意見	26件
アンケートに関するご意見	29件
その他	25件
合計	493件